

## 9 災害時のトイレの利用方法

大雨や地震などの災害により、断水でトイレに流す水がなくなったり、下水道管が詰まるなどして尿尿が流れなくなることがあります。大規模災害時には、避難所等に仮設トイレが設置されたりしますが、設置までに要する時間や設置数そのものが少なく、トイレが思うように利用できない状況が想定されます。日頃から、予期せぬ事態に備えて、各家庭で用意を行いましょう。

### 風呂の水の汲み置き

断水時に備えて、お風呂の残り湯を溜めておくようにしたり、ペットボトルやポリタンクなどに生活用水を溜めておきましょう。

### 災害用簡易トイレ

非常用の簡易トイレで、汚物袋や凝固剤がセットになったもので、長期間の保存にも耐えるものが市販されています。

また、大きめのポリ袋や新聞紙、ティッシュ、トイレットペーパーなどで簡易トイレを作ることできます。

### 下水の逆流対策

短時間に集中して大雨が降った場合などに、下水が流れにくくなったり下水が逆流することがあります。そのような場合には、大きめのビニール袋を2枚重ねたものに、水を半分程度(20ℓ程度)入れた「水のう」を作り、トイレや排水溝などに置くと、逆流を抑える効果があります。

### 【 参 考 】

『家庭で役立つ防災』(国土交通省)

<https://www.hkd.mlit.go.jp/rm/bousai.pdf>

